

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

A-1

Clear Stream Scenic Byway

活動名：「釧路湿原-阿寒-摩周バリフリツーリズム」推進体制づくり

- 【概要】公募によって2名の調査員（障がい者＋同伴者）を招き、介助ヘルパーが同行する形でのモデルツアーを実施した。今年度は旭川地域のNPO法人（旅とびあ北海道）にもご協力いただき、地域で連携したツーリズムについて実証した。ツアーを通じて、高齢者や障がい者の旅行におけるサポートの課題を把握するとともに、地域主体となった“おもてなしする体制”のあり方を学ぶための勉強会を行う（平成25年2月実施予定）。
- 【日時】平成24年10月30日～11月2日（3泊4日）
- 【場所】旭山動物園、アイヌシアターイコロ、900草原、摩周湖、硫黄山、阿寒湖遊覧船など
- 【主催】釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ
- 【参加人数】2名：障がい者（車椅子）＋同伴者（障がい者の母親）



▲この写真とともに平成24年11月26日の釧路新聞(1面)に「観光のバリアフリー化を」「車いす利用サポート」「モデルツアー実施」という内容で釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイの活動が記事として取り上げられました

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

A-2

Clear Stream Scenic Byway

活動名：そらの森 植樹会(景観まちづくり部会)

- 【概要】景観まちづくり部会では、平成22年度より継続して実施しているそらの森（弟子屈飛行場跡地）での植樹活動を継続的に実施しており、飛行場跡地の自然再生だけでなく、シーニックの森制度を活用したカーボンオフセットの森づくりを行っている。地域の子供達や障がい者にも参加していただき、環境教育的な位置づけも担っている。
- 【日時】平成24年10月20日 9時～12時
- 【場所】そらの森（弟子屈町飛行場跡地：一般国道241号沿い）
- 【主催】景観まちづくり部会 Clear Stream Scenic Forestプロジェクト・弟子屈エリア
- 【参加人数】30名



参加メンバー



植樹の様子

Clear Stream Scenic Byway

活動名：HP・各種広報誌等による情報提供(観光交流部会・情報広報部会・シーニックフェプロジェクト)

- 【概要】 Webサイトや各種マップ（ビギナーズドライバーマップ、移動距離・時間マップ）、地域の美しい四季のポスター、ルート紹介パンフレットを作成、活用して釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイの魅力を伝えられるような情報提供を進めた。
- 【日時】 平成24年4月～平成25年3月
- 【場所】 道の駅、たんちょう釧路空港、根室中標津空港などでの配布・掲示
- 【主催】 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ



ルート紹介パンフレット



ルート紹介ポスター(左:秋版、右:冬版)

活動名：はこだて花かいどう

【概要】今年で9年目となるはこだて花かいどうの取り組み。6月9日（土）の植栽日には、小中学校やスポーツ少年団、町会など約1,000人が集まり、約10,000株の花苗を植栽しました。また、撤去した花をミミズを使って堆肥化させる循環型の活動も継続して実施しています。

【日時】平成24年6月9日（土）～11月4日（日）

【場所】函館新道

【主催】函館花いっぱい道づくりの会

【参加人数】主催者：約1,650名 一般参加：約200名



▲ミミズの投入！



▲ミミズの採集



▲ミミズ。。

活動名：ユニバーサルな縄文観光のための人材育成研修ツアー

【概要】函館駅等で高齢者や障がい者の移動のお手伝いを行っている函館バリアフリーボランティアプロジェクトと縄文の知識を有する函館市縄文文化交流センタースタッフが連携して、「車椅子利用者や障がい者に対する介助方法」と「縄文文化の知識」を相互に共有することにより、ユニバーサルな縄文観光の実現を図るために研修ツアーを実施しました。

【日時】11月24日（土） 10:00～16:00

【場所】函館市縄文文化交流センター

【主催】函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議

【参加人数】主催者：10名



▲車椅子利用者の介助方法講習



▲視覚障がい者の介助方法講習



▲修了書授与

活動名：ひらめ底建網オーナープロジェクト

【概要】今年で5回目を迎える「ひらめ底建網オーナーin遠別」を開催。この取り組みは、当ルートの遠別漁協、遠別産業振興公社、そして留萌市のエフエムもえるが協力して、遠別の特産であるヒラメを地元はもちろん、全国に発信し、ブランド力を高めるためにオーナー制度を実施。オーナーは、漁イベント当日に揚がったヒラメや雑魚を山分けする。今年は天候にも恵まれ、例年通り、優先枠オーナーの猟場見学や、地域物産品の販売、ひらめの捌き方教室などのイベントを実施。乗船できない一般枠のオーナーも全道各地から訪れ、各々用意した発泡スチロールにひらめや他の魚を持ち帰るなど、イベントを楽しんだ。オーナーは全国各地から応募があり、札幌などの道内都市でも徐々に遠別のひらめのブランド化が定着しつつある。

課題として、オーナー以外の一般参加者を増やす仕組みなどが挙げられる。

【日時】平成24年6月16日（土）

【場所】遠別漁港

【主催】ひらめ底建網オーナーin遠別実行委員会

【参加人数】800名（主催者80名、一般参加720名程度）



獲れたてのひらめと船長



漁の様子



地域特産品の販売



新鮮なひらめを手に喜ぶオーナー



水揚げされたひらめ

活動名：情報受発信プロジェクト

【概要】地域情報の「どこ？」をビジュアルで伝える「オロロン手書きマップ」を発行し、好評を得ている。過去のストックを基礎としながら、情報収集作業により築いた地域とのゆるやかな関係性により、他に類を見ない留萌管内全市町村が統一のイラストマップ（留萌観光連盟製作）を実現し、管内に徐々に広がっている。留萌振興局の協力により、管内の一部観光施設に設置されているコカ・コーラの自動販売機に掲載されている他、羽幌のフェリーターミナルや、管内宿泊施設等で独自に、拡大した大きさのオロロンマップを配置するといった機運も生じている。地元の方の声として、非常にわかりやすく、また、親しみやすいデザインで、訪れた方にも好評とのお話をいただいております。マップを通して、地域内の連帯感が徐々に生まれつつある。今後、改訂版を発行し、さらなる発展を目指す予定である。

【日時】通年

【場所】留萌管内全域

【主催】るもい観光連盟

【参加人数】—



オロロン手書きマップ



るもいfanフリーペーパー：毎月発行

活動名：フィルムコミッションから学ぶ新たな観光開発事業プロジェクト

【概要】留萌中部地域が近年ドラマや映画、ドキュメンタリーの舞台としてロケや取材が多数行われていることから、北海道西海岸の温暖でさわやかな風土や文化、歴史が注目されている現状にある。フィルムコミッションから学ぶ地域資源の掘り起こしと今後の具体的な活動を模索し、地域に眠っている北海道でもポテンシャルの高い西海岸地域の資源、風土を活かし地域経済の活性化の方向性を探ることを目的とした活動を実施。Facebookを活用した情報発信やフォトコンテストの開催などに取り組んだ。フォトコンテストの開催では、応募期間約2ヶ月間と限られた時間の中で、合計80件の作品応募を受けることが出来た。現在、Facebookを通して、フォトコンテストの結果など、様々な情報発信に取り組んでおり、1月下旬から2月下旬にかけて、3町村にて作品の巡回展を実施する予定である。今後は、集めた作品や素材をプロモーション等でどのように生かしていくのが課題となっている。

【日時】平成24年6月1日～平成25年2月28日

【場所】苫前町・羽幌町・初山別村

【主催】苫前町商工会

【参加人数】100名（主催者名10名、一般参加100名程度）



Facebookを通じた情報発信



フォトコンテスト募集要綱



最優秀作品『羽幌漁港夕景』

十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート A-1

TOKACHI Scenic Byway TOKACHIHEIYA・SANROKU route

活動名：人と未来をつなぐ100年の木プロジェクト

【概要】 北海道観光の道しるべとなる”サインツリー”を、地域が一体となって旭川～十勝間の幹線道路沿道に植え、訪れる人々に、地域の要所、景観の優れた（シーニック）箇所、並木、花壇や庭園（ガーデン）を案内し、おもてなしを行うという、十勝シーニックバイウェイの3ルート、大雪・富良野ルート、ガーデン街道が連携して実施している取り組み。今年度植樹祭を実施し、各ルートにサインツリーを植樹した。後世に残る新しい景観を創出することで、他地域との交流人口拡大も期待できる。

【日時】 植樹祭 平成24年5月19日

【場所】 十勝シーニックバイウェイの3ルートおよび大雪・富良野ルートのエリア内

【主催】 シーニックバイウェイ&ガーデン街道 美しい北海道景観を育てる会

【参加人数】 3ルートおよび関係機関など100人程度が参加



プロジェクトの概念



地域の親子による植樹



植樹祭の記念撮影

十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート A-2

TOKACHI Scenic Byway TOKACHIHEIYA・SANROKU route

活動名：ルートマップの作成

【概要】 特に道東道の開通を機に十勝へのアクセス性が高まった今、地域の魅力を発見、創造していくと同時に、これを発信していく機会、手段を持つことが重要である。平成22年度に作成した「十勝平野・山麓ルートマップ」が各地で高い評価を得ていることから、観光には「自治体区切りではなく広域での情報提供」が必要であると実感した。今年度はルートマップをリニューアルし、更なる情報発信に努めた。今後も、この種の情報発信を継続的に行うことが重要と考える。

【日時】 制作期間：平成24年8月～平成24年11月 / 発行：平成24年11月

【検討機関】 観光振興分科会

【発行】 部数：5万部、配布箇所：十勝管内の道の駅・札幌地下歩行空間 等



十勝平野・山麓ルート
ルートMAP 抜粋

十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間ルート

A-1

TOKACHI Scenic Byway Tokapuchi Yudaikukan

活動名：トカプチまる得めぐり券 事業

【概要】今年度で3年目の事業となるトカプチ雄大空間内の施設をお得にめぐる「トカプチまる得めぐり券」（1,200円、2,000円の2種類）を販売した。観光施設20箇所、市内ホテル13箇所、観光案内所等8箇所と販売箇所を拡大し、委託販売とともに相互の施設においてPR活動を実施した。

また、今年度の結果を受けて、平成25年度は、「とかちガーデンスイーツ温泉チケット」と名称および企画内容を変更する。JR北海道およびJTBの旅行商品に組み込みが決定し、更なる販売促進を期待している。今後も関係施設や旅行エージェントに売り込みを行って定期的な収入になるよう、販売先を広げていく。

【日時】平成24年4月28日（土）～10月14日（日）※販売期間
【場所】トカプチ雄大空間エリア
【主催】十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間
【参加人数】販売枚数：326枚（一般販売）



ガーデン+スイーツ+フード+ドリンク1,200円



温泉+フード+ドリンク 2,000円

●ガーデン+スイーツ+フード+ドリンク券(1,200円)対応施設

（ガーデン施設入場券1枚+スイーツ+フード+ドリンク他引換券2枚、ばんえい競馬入場無料券付）

【ガーデン&施設】

真鍋庭園・紫竹ガーデン・おびひろ動物園・帯広百年記念館・ばんえい十勝・十勝ヒルズ

【スイーツ+フード+ドリンク他】

とかちむら・とかち物産センター・北の屋台・チューインガム・ダンテライオンドーナツ・新嵐山荘・焼肉KAGURA・すず喜・柳月スイートピアガーデン・まきばの家・池田ワイン城・道の駅ステラ★ほんべつ

●温泉+フード+ドリンク券(2,000円)対応施設

（十勝川温泉入浴券1枚+フード+ドリンク他引換券2枚、ばんえい競馬入場無料券付）

【温泉+ばんえい競馬】

第一ホテル・観月苑・笹井ホテル・ばんえい十勝

【フード+ドリンク他】

とかちむら・真鍋庭園・紫竹ガーデン・北の屋台・とかち物産センター・チューインガム・ダンテライオンドーナツ・すず喜・柳月スイートピアガーデン・十勝ヒルズ・まきばの家・池田ワイン城・道の駅ステラ★ほんべつ

Tokapuchi 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間ルート

A-2

TOKACHI Scenic Byway Tokapuchi Yudaikukan

活動名：ライフコンシェルジュ育成事業

【概要】十勝の魅力・生活の楽しみを伝える「ライフコンシェルジュ」の育成事業の今年の大きな動きとして、十勝川温泉にある「十勝ヶ丘展望台のシーニックカフェ」に2名×35回の派遣を行い、十勝の観光情報を伝える活動を行った。その他、6つイベントについてライフコンシェルジュの派遣を行うなど、積極的に十勝の観光情報を伝える活動を実施した。今後は、この活動実績を活かし、ビジネスモデル化を目指す。

【日時】平成24年5月～10月末（活動期間）
【場所】十勝管内および札幌圏にて活動を実施
【主催】十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間
【参加人数】ライフコンシェルジュ：10名 派遣イベントは以下の通り

- ①十勝ヶ丘展望台ライフコンシェルジュ派遣事業（計35回）
- ②ライフコンシェルジュと回るバスツアー
- ③北海道新聞花火大会プロモーション
- ④とかちマルシェ・十勝観光案内所
- ⑤とかちばん馬まつり・十勝観光案内所
- ⑥秋の十勝満喫モニターツアー
- ⑦札幌国際大学連携事業「十勝学フィールドワーク」



とかちマルシェ・十勝観光案内所



北海道新聞花火大会プロモーション

LIFE+CONCIERGE
 十勝の魅力・生活の楽しみ方を伝える人
 ご当地風土アドバイザー

- 地元の豊かさを自ら感じ楽しむ
- 地元の生活スタイルを伝える
- 親まれ親身になれる人間性
- ひとへ癒し

ライフコンシェルジュとは

Tokapuchi 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間ルート

TOKACHI Scenic Byway Tokapuchi Yudaikukan

活動名：トカプチマップ事業

- 【概要】昨年度に引き続き、エリア内のおすすめドライブルートの紹介や観光PRを含めたマップを作成し、観光拠点を中心に配布を行った。今年度は、持ち運びやすさや印刷部数増刷を目的にサイズを改善した。観光客からのマップの需要は高いことから、今後も観光プロモーションと合わせて続けていく。
- 【日時】制作期間 平成24年9月～12月 発行：平成24年12月
- 【主催】十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間
- 【マップ仕様】印刷部数：70,000部 サイズ：B1（折りたんでB5）
配布箇所：ルート団体施設ほかエリア内の観光施設、札幌市内など



<トカプチ雄大空間ルートMAP 抜粋>

Tokapuchi 「景」と「癒し」で大満足の十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

A-1

TOKACHI Scenic Byway MINAMITOKACHI YUMEKAIDO

活動名：学校シーニックバイウェイ

【概要】

学校シーニックバイウェイは、子供達の地域を愛する気持ち、訪れる人を思う気持ちを育むため、子供目線による地域の魅力を地域内外へ積極的に発信することを目的として、平成22年に、幕別町立忠類小学校5年生を対象に開始した。

今年度は、授業実施市町村を増やし、忠類小学校のほか、中札内小学校、大樹町小学校の6年生を対象とした授業を実施した。また、ルート内市町村の主要な小学校6校に、地域の魅力に関するアンケートを実施し、授業や子供たちのアンケート結果から、子供たちの意見を取り入れたルートマップを作成した。

【日時】2010年12月15日（水）～2013年3月31日（木）

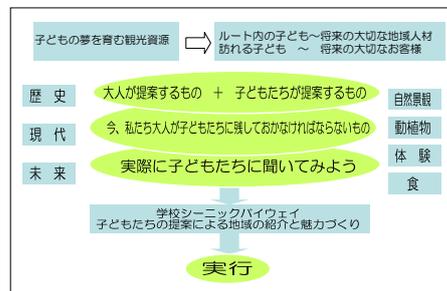
【場所】授業：中札内小学校、忠類小学校、大樹町小学校
アンケート：各町村主要小学校6校

【主催】十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

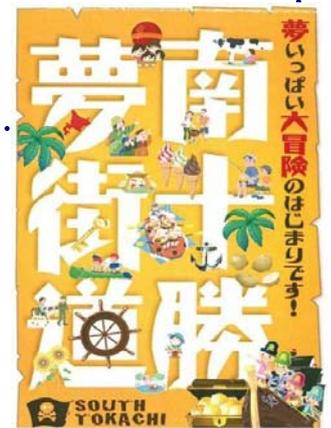
【参加人数】小学校6校



学校シーニックの授業の様子



学校シーニックバイウェイの概要



ルートマップ（仮）現在作成中

十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

A-2

TOKACHI Scenic Byway MINAMITOKACHI YUMEKAIDO

活動名：フォトコンテスト & フォトコンテストカレンダー作成

【概要】

フォトコンテストの開催およびコンテスト入選作品から作成するフォトコンテストカレンダーの作成・販売は候補ルート時から継続して実施している活動である。

フォトコンテストは、地域の魅力を発信しエリアに訪問して頂く機会を作るため、H18年より実施しており、毎年多くの応募作品がある。また、コンテストを実施するだけでなく、入賞作品をメインにカレンダーを制作し販売している。応募作品の著作権はルートに帰属させて置き、ルートの広報PR等に役立たせている。この活動は、候補ルート登録時から実施している活動であり、本ルートの景観の素晴らしさを多くの方に知ってもらえる活動となっている。

昨年に引き続き、札幌市でもカレンダー販売を行った。

【日時】作品募集：2012（平成24）年7月20日～9月30日

カレンダー販売：2012年11月～2013年1月

【場所】撮影：南十勝夢街道エリア、販売：南十勝夢街道内商工会ほか、ルート内道の駅、札幌市、ウェブサイトなど

【主催】十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

【参加人数】フォトコン応募：208点 カレンダー：1500部作成



2013年カレンダー（表紙・裏表紙）



99 フォトコンテスト募集チラシ



作品名：ダムと桜（中札内村）
H24年グランプリ作品

活動名：札幌シーニックバイウェイルートカレンダー2013

【概要】 当ルートがシーニックバイウェイ北海道のルートとして認定された記念として、ルートの魅力を広くPRするとともに、シーニックバイウェイの活動を周知することを目的として、昨年度、ルートの取り組み（沿道景観保全等）、集客施設、景観スポットなど、ルート内の魅力的なスポットの写真を使用したカレンダーを作成・配布した。大変好評であったため、本年度よりルートメンバーによるカレンダー作製実行委員会を設置し、ルートイベント情報なども取り入れ、作成した。デザインは札幌市立大学学生によるもの。また、本年度は本取り組みに対するアンケート調査を実施し、今後の参考とするため効果検証を行う。（1/21現在：約100通回収）

【日時】 企画検討：平成24年9月～12月／配布：平成24年12月中旬～

【場所】 ルート内各地、関係各機関 他

【作成・発行】 札幌シーニックバイウェイ
藻岩山麓・定山溪ルート運営代表者会議

【発行部数】 15,000部



各月毎にその時期にルートで開催されているイベントやお薦めスポットを紹介

活動名：札幌南オータムフェスティバル

【概要】 ルートの活動団体である滝野すずらん丘陵公園でルートの魅力をPRするイベントを実施。ルートの活動紹介（チラシ配布・パネル等の設置、缶バッジの配布など）の他、ルート活動団体が地域の商店街等と連携し、野菜やルート特産物の飲食・販売コーナー、定山溪温泉の湯を持ち込んだ「足湯コーナー」を設置、ルート内のご当地キャラクターの豪華共演（5種）など、バラエティーに富んだ内容で、ルートの魅力を公園来場者にPRした。

事前告知として滝野すずらん丘陵公園では、市内ほか小学校等に23万部配布される公園イベント周知のためのチラシ、また、札幌、北広島、江別等64万戸に配布される北海道新聞折り込みチラシ、公式サイトなどで情報発信を行った。

入園者数も連日5,000名（16日：5140／17日：6596）を超え、イベントも大勢の来園者で賑わった。

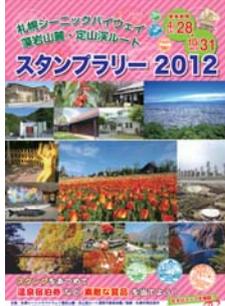
【日時】 平成24年9月16日(日)・17日(月・祝)

【場所】 国営滝野すずらん丘陵公園

【主催】 札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート運営代表者会議、
国営滝野すずらん丘陵公園、
札幌市南区商店街連絡協議会 ほか



- 【概要】 平成24年4月末から10月末までの6ヶ月間、定山溪温泉、滝野すずらん丘陵公園など、ルート内全18スポットを巡るスタンプラリーを実施。各スポットの他、札幌駅の観光案内所や札幌駅前通地下歩行空間、新千歳空港、JTB首都圏主要30店舗のほか、公共施設、ルート内飲食店等にチラシを配架した（約47,000部）。
- 昨 years が好評だったが、より参加しやすくするため、3箇所以上から応募できるようにした。ルートの特徴をアピールするよう温泉入浴券、地域特産品となる景品等を用意し、より多くの方に景品があたるよう150名分に増やした。結果、応募人数が1700名を超え、昨年度と比べ1.7倍の応募となった。応募数が増加した原因は、応募最低必要スタンプ数を10個以上から3個以上に引き下げたためと考えられ、より多くの方の参加へと繋がった。
- 【日時】 平成24年4月28日～10月31日
- 【場所】 ルート内18カ所の集客・観光施設等
- 【主催】 札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート運営代表者会議



昨 years は改修工事のため間に合わず、本年度実施から新しく仲間入りした藻岩山展望台のスタンプ